


●ガバナー 長嶺 康廣 ● 会長 吉田 立盛 ● 幹事 平光 清美 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2010 回 例会 記録

《奉仕プロジェクト委員会担当例会》

2017 年 2 月 16 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1442



桜田 S A A

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《ビジター》

白鷹 常和様 (呉東 RC)

《会長要件》吉田立盛会長



今日の例会は奉仕プロジェクト委員会担当例会です。米内委員長、委員の皆様よろしくお祈いします。今週末に南グループの IM が行われます。今回の IM を担当する北クラブからロータリー 100 周年にまつわる川柳を各クラブ一首出してくださいとの依頼があり、うちのクラブには短歌で本も出している三川会員がおられますのでお祈いしたのですが、私は川柳は無理だよとお断りされてしまいました。仕方なく自分で作って事務局の伊藤さんから提出してもらいました。先日テレビを見ていたところ、ちょうどサラリーマン川柳のニュースが流れており、いかに自分の書いたものがひどいものだったかと後悔しています。IM に参加できない方もいらっしゃると思いますので前もって皆様に発表したいと思ひます。全然ロータリー 100 周年には関係ない感じになったのですが聞いてください。「あとちょっと 僕の年度と ポリオ撲滅」というものです。もうちょっとでポリオが撲滅できるということと、あとちょっとで会長年度が終わってしまうという私なりの憂いを詠んでみました。各クラブから出た川柳の順位をつけて上位のクラブには表彰もあるということでしたが、ビリになるかもしれませんが恥をかきつもりで行ってきます。

会長になりましたら RI からよくメールが届くのですが、その中にクラブの健康度チェックをしましょうというのがありました。その中に健康度合いを測るチェックリストみたいのがあり、その中の一つを皆さんに試してみたいと思ひます。当てはまる方は挙手をお願いします。私は例会を楽しみにしているという方、挙手をお願いします。うちのクラブは健康です。ありがとうございました。

《出席報告》原委員長



正会員数 41 名。本日の出席は免除会員 3 名を含む 28 名。出席率は 73% です。前々回の例会はよろず相談報告例会でした。

《奥様誕生日》



野澤会員

《幹事報告》平光幹事



・金木ロータリークラブ創立 50 周年記念誌とハイライト米山が届いています。

《ニコニコボックス》山崎委員

吉田立盛会長：呉東 RC、白鷹様、八戸
によろこそ!! おんでやんした。
米内委員長今日は担当例会よろしくお祈いします。

平光幹事：奉仕プロジェクト担当例会、よろしくお祈い致します。

鈴木会員：奉仕プロジェクト委員会の皆様、本日よりよろしくお祈いします。

米内会員：次年度理事・役員会ありがとうございました。

西村会員：奉仕プロジェクト委員会、宜しくお祈い致します。

本人誕生日：大橋会員

奥様誕生日：野澤会員 (1 月)



《ご挨拶》白鷹 常和様（呉東 RC）



皆さんこんにちは、私は広島県呉市から参りました。呉は人口 26 万人でございますがロータリークラブは 3 つございます。一番古いのが呉ロータリークラブで会員は今 70 人くらい、私どもが 2 番目で呉東ロータリークラブ、私どものクラブは 34 名でわりあい小ぶりです、そして南クラブは我々が作ったクラブですが、呉南ロータリークラブは 54 人ほどいます。ちょっと頑張っております。私は昭和 56 年に青年会議所を卒業してすぐに先輩に誘われて入会しました。私どものクラブは 2710 地区で広島県と山口県の二つの県で構成しています。地区には 70 くらいのクラブがあります。広島県呉市は人口 26 万人ですが戦争中は 40 万を超えていました。呉海軍工廠と海軍があったので 40 万以上いたのですが戦争が終わってすぐに 12 万まで減りました。それからだんだんに増えて 24 万くらいまで来まして、平成の大合併で 1 市 7 町村が一緒になり 26 万になりました。呉は昔から海軍の町であり、戦艦大和を生んだ町でございます。戦艦大和はご存知の方もおられるかと思いますが日本で一番大きな戦艦です。大和と武蔵と二つありますが大和が先にできて後で武蔵が出来ました。同じ図面の同型艦で 72,800 トンの軍艦でした。武蔵も大和も沈んでしまいましたが、大和は大和ホテルと言われるくらいものすごく立派な船で、武蔵は同じ型でしたが中身はそんなに良くなく普通の軍艦でした。大和には冷蔵庫はあったし、空調もありものすごく整備された軍艦でした。この辺の技術は戦後呉市の産業に大きく貢献をしております。呉市は今でもタンカー、今 32 万トンくらいのタンカーを造っておりますが、ずうーと造船と鉄鋼を続けています。鉄鋼は日新製鋼、新日鉄の子会社ですが鉄を作っています。高炉が三つくらいあり 10 センチくらいの鉄板を作りローラーで伸ばして、最後は自動車を作るような薄い鉄板なども作っています。そのようなことで産業はやはり重工業が多い、そしてマツダがありますのでかなりの企業がマツダの協力会社としてお仕事をしています。先ほど橋本さんからお話がありましたが、私どものちょうど向かいに江田島がありましてそこは昔海軍兵学校があったところです。現在も海上自衛隊の幹部候補生学校がそこにありまして、橋本様ご夫妻がその卒業式の帰りに広島の方もずいぶん回っていただいたようです。ありがとうございました。呉には大和ミュージアムというものがあります。10 年位前にできたのですが年間 70 万人くらいのお客様においでいただいているようです。大和ミュージアムには戦艦大和の 10 分の一の実物がありますし、いろいろなものが展示してありますので是非おいでいただきたいと思います。

《奉仕プロジェクト委員会》米内委員長

奉仕プロジェクト委員会の皆様にお話をいただきますが最初に国際奉仕から三笠さんにお話をさせていただきます。



《三笠国際奉仕委員》



私は八戸南ロータリークラブに昨年 5 月に入会させていただきましたが、仙台育英学園の理事長兼校長である加藤雄彦先生から、少し社会のことも勉強した方がいいよ、ロータリーに入ったらどうだと言われ何もわからずに入りました。たまたま理事長は仙台南ロータリーに所属していたということもあり、同じ系列の光星学院の法官先生を紹介していただき、法官先生の推薦で入会させていただきましたということでございます。私はこれまで青森県の公立の小学校の方に勤務しております。最後は隣の吹上小学校で終わりました。その 2 年後に現在の仙台育英学園の ILC 青森校に勤務しております。せっかくの機会ですので ILC 青森の名前だけでも知っていただける機会になればとお話させていただきます。仙台育英学園は皆様ご存知だとは思いますが、野球や駅伝でも出ていますが文武両道ということで頭脳的に優秀な子供たちもおり部活動だけではなく人間性を育てることを大事にしています。明治 38 年に育英塾ということで創立しました。全国にさまざまな育英がありますが全く関係ありません。会議などの場で校長は育英さんと呼ばれても返事はしない、うちは育英ではない、仙台育英だよと、そのくらい強い気持ちを持っている方です。世界 12 か国に約 50 を超える姉妹校があります。ILC 青森はお配りしたパンフレットにもありますが I は育英学園、L はラーニング、学ぶ、そして C はセンター、ということで ILC、学び舎でということで ILC 青森、通信制で 14 年に開設され 15 年目を迎えています。全国に ILC 宮城、仙台育英学園の中にあります。北はこの八戸、南は沖縄があり全国に 3 か所の通信制を持っています。今、1 月で通信制の卒業生が大体 1,800 名を超えました。そのうち ILC 青森は 590 名の卒業生を出しております。昨年 110 周年を迎えて今年度湊高台に新しく自前の校舎を建てました。これまでは八戸学院大学で日曜日だけ大学をお借りしてスクーリングをやっていました。生徒数も増えてきたし、学校を作ろうというようなことで湊高台に自前の校舎を作り、そこでは水曜日から土曜日まで授業、スクーリングをしています。日曜日は短期大学の方でスクーリングをしています。今現在、本校には 179 名の生徒が在籍しております。年齢層は中学を卒業してすぐ入った子から、上は 51 才まで広い年齢層ですがほとんど 10 代から 20 代前半の生徒です。パンフレットを開いていただくと写真が載っています。一番左は学校行事の種差ウォーク、種差の自然に触れながら遠足です。その隣が教室で学んでいるところ、真ん中が新しい学校の外観です。その右は、今年、はっちで行った社会人養成講座です。講師に小原日登美さんと呼んでお話ししていただきました。小原日登美さんは白銀小学生の時に担任をしていた関係ですぐに来てくれるので助かっています。その右がボーリング教室です。このように様々なことをやりながら進めております。ここに来る子供たち、様々ありますが、通信制ですので 3 年以上学ぶ、自分のペースで学んで卒業資格を得るために ILC 青森に来ているわけです。基本的には月 1 回各個人に



学校からレポートが郵送されます。その課題を家でやる、あるいは学校に来てやる。学校でやるのはスクーリングと言って先生から直接指導を受けます。レポートを提出し、スクーリングを受けて最後にテスト受けて合格すると単位がもらえます。普通の

高校、中学校のように黒板に向かって先生が板書して、みんなが座ってやるというような形ではありません。例えば社会科の授業の中でも、政治をやっている子もいれば日本史をやっている子、地理をやっている子など様々です。自分の履修している教科のレポートを作成しています。先生が教室の中を机間巡視しながら直接指導しています。これがスクーリングということで普通の高校とは違う形です。高校を卒業するには74単位必要ですが、例えば中学校から来た場合はそのまま74単位本校で取りますが、高校へ行って1年生、2年生で行けなくなった、そういう場合は高校1年生の単位がそのまま引き継がれますので、残り分の単位を取れば卒業できます。ですから、来て1年で卒業する子もいますし、2年、3年、中だるみをして4年かかる子もいます。様々な子がいますが、とにかく74単位を取れば卒業できます。新入生は中学からくる子、転入生は県立高校あるいは私立高校から直接うちに転入してくる子、編入生というのは一度退学した子です。退学した子でも単位を持っていれば引き継がれますから74単位を取れば卒業できます。うちは2期制で前期後期と入学式も卒業式も2回ずつ実施しております。来る子供たちはとにかく卒業資格を取りたいということで、以前居りましたが53才の女性の方で、自分は中学しか出ていなかったけれど子育ても全部終わって、これからは全部自分の時間にしようとうちに入って学び、八戸の理美容学校に進学しました。将来的には自分の美容院を持ちたい、専門学校へ行くにも高卒の資格がないと進めませんので、高卒の資格を取るために頑張るという方もおられます。今特に多いのが精神的な病、不登校とかで、5日間学校に行くのはできない、でも1日ならいけるというような子供たち、一度社会に出たけれど中卒だと相手にしてもらえない、非常に世間は厳しいのでもう一回やり直そうというような形で本校に入学してくる子もおります。パンフレットの最後に入学するための費用などが書いてありますが、国からの支援金という形で補助が出ます。簡単に申し上げると、家族の年収が910万未満であれば1単位の授業料6,000円のうちの4,800円くらい国から補助が出ます。590万未満であればほとんど授業料がただで学習することが出来ます。国からの支援というのは生徒にとって大きなものだと感じています。実際200名弱の子供がおりますが八戸市内で4割、三戸郡で1割、十和田上北で2割、そのほか、むつや岩手県の県北からも来ています。転入生が82名おりますがそのうちの市内の高校から80名ほどです。学校の教職員は9名で生徒の世話をしています。4年制の大学や短大に進む子なども結構おります。生徒は増加傾向にあり、デーリー東北のクリップ欄に毎月

1回出して随時案内をしています。行くところのなくなった子供にとって最後の砦かなということで随時受け入れ態勢を取っています。一番は生徒同士の口伝えです、今こういう子がいるんだけど、先生私仙台育英を紹介したからね、ありがとう、そういう風な生徒同士のつながりが出来るというのは生徒と先生方との信頼が生まれているからだと思います。そのパンフレットを見ていただいて何かありましたらご相談ください。そういう子がいないのが一番いいのですが、困っている子とか様々あると思いますので、今後ともILC青森、仙台育英学園というのを頭の隅にでもおいていただければと思います。貴重な時間ありがとうございます。

《小笠原米山担当副委員長》



毎年米山を担当させていただいている小笠原です。今日は皆様にご覧いただきありがとうございます。米山に対する寄付を改めてお願いします。私がロータリーに入るきっかけになったのはある方の紹介でした。ロータリーは奉仕の団体だと

いうことは聞いていましたが、私は自分で奉仕の活動に参加するのはなかなか難しい、でも、何かしらの奉仕はできないかと米山や財団に対する寄付は毎年のように続けています。なぜなら私にロータリーを進めてくれた方がロータリーには寄付金がある、財団は100ドル、米山は1万円だと教えてくれたからです。私は入会以来この二つは欠かしたことがありません、皆さんもやっているものだと思います。しかしながら、今年の米山の寄付は、今日現在3名の方しかしていただいております。一晩飲みに出るよりも、勉強したくてもできない子たちのために寄付をお願いします。最近入会した方はよく知らないかもしれませんので少し米山についてご紹介します。ロータリーには米山奨学金制度というのがあり、日本に来て勉強している外国人留学生に、日本全国のロータリークラブの寄付金を財源として奨学金を支給し学生を支援しています。個人的には日本に来て勉強している方はお金があるのではと疑問に思っているのですが、世界的な支援は財団で、米山は日本のやさしさから出た寄付金だと思いますので、一度に1万円ではなくて結構です。1年を通して目標額になるようによろしくお願い致します。

《石橋職業奉仕委員長》

今日の奉仕プロジェクト委員会ですが次年度からは奉仕プロジェクト部門という形になり、委員会はなくなりますのでこのような報告会はなくなります。クラブ組織運営委員会も部門という形になります。詳しくは3月の規定審議・クラブ細則委員会の担当例会でご報告し、皆様の承認を得てからになります。また、来年のよろず相談はワシントンホテルさんではできなくなると思いますので、これから米内年度で色々と検討し場所など決めたいと思っています。

